

長浜市  
LGBTなど性的少数者の人権に関する  
市民意識調査

報告書

令和4年2月

長浜市

## 【調査の概要】

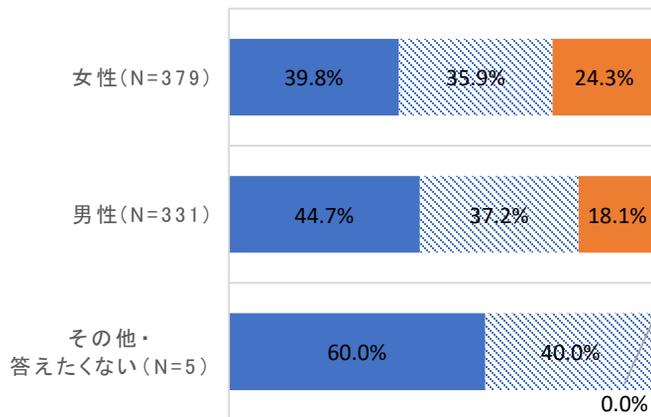
- 1 調査の目的：市民のLGBTなどの性的少数者の人権に関する考えを調査し、今後の施策を検討するうえでの基礎資料とすることを目的に実施
- 2 調査の対象者：長浜市内在住の18歳から79歳までの男女2,000人を無作為抽出
- 3 調査の期間：令和3年10月8日～10月29日
- 4 調査方法：○調査票は郵送  
○回答は、調査票に直接記入し返送またはインターネットでの回答  
○無記名方式
- 5 回収状況：回収率38.9% 回答件数777件  
(内郵送による回答647件 インターネットによる回答130件)
- 6 報告書の見方：○比率は各設問の集計対象者数に対する百分率を表している。  
○設問ごとの有効回答数はN = ○で表示  
○百分率は小数第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示した。四捨五入の関係上、選択肢の百分率の合計が100.0%にならない場合がある。  
○複数回答の設問では、百分率の合計は100.0%を超える場合がある。  
○本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。  
○調査は、「男女共同参画に関する調査」とあわせて実施したが、本結果は「LGBTなどの性的少数者の人権」に関する調査結果について取りまとめたものである。

## ○LGBTについてどの程度知っていますか

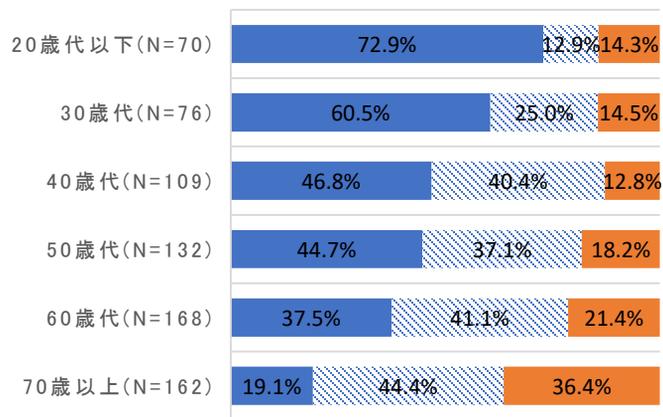
■ 1言葉と意味の両方知っている    ▨ 2言葉は知っている    ■ 3知らない



LGBTについてどの程度知っていますか  
【性別】



LGBTについてどの程度知っていますか  
【年代別】



全体で見ると、言葉を知っている割合は78.7%と8割近くに上りますが、意味も知っている割合は42.2%と大きく下がります。

言葉と意味の両方知っている割合は、20歳代で7割、30歳代で6割に上る一方、40歳代以上では5割を切り、60歳代で37.5%、70歳以上で19.1%と年代が上がるにつれ知っている割合が少なくなっています。

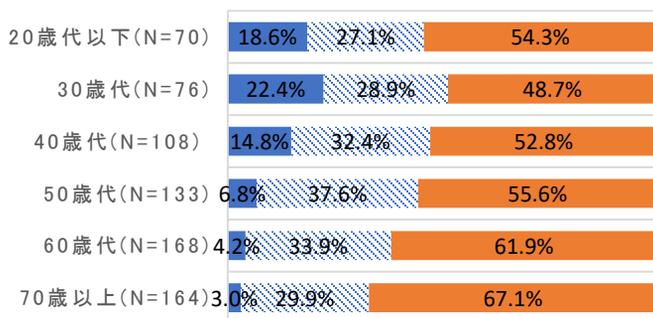
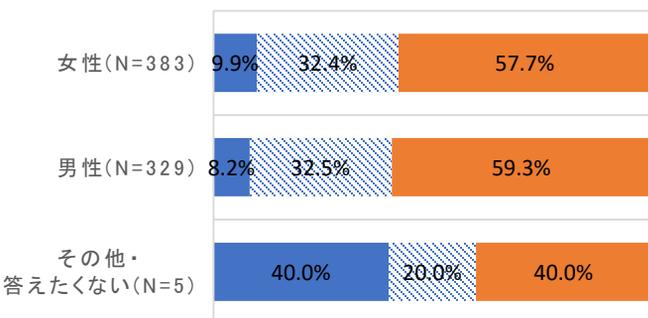
## ○周りに性的少数者の方はいますか

■ 1いる    ▨ 2いない    ■ 3わからない



### 【性別】

### 【年代別】



全体では「わからない」という回答58.5%と多くなっています。年代別に見ると若い世代では「いる」と回答する割合が多くなっています。

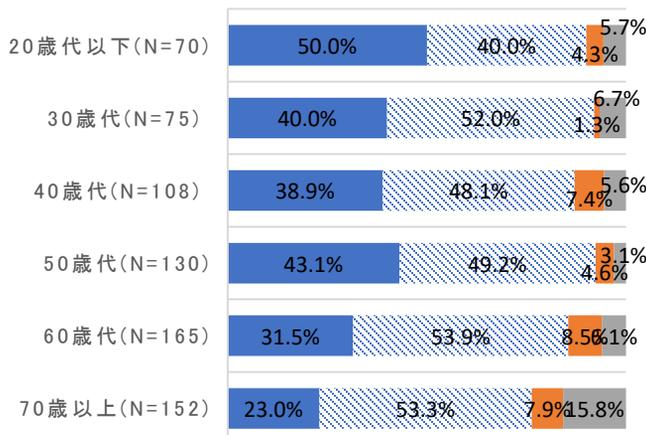
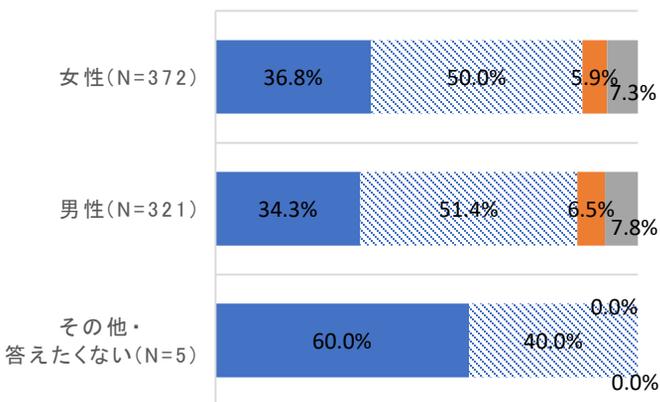
## ○性的少数者にとって現在の社会は偏見や差別などで生きづらい社会だと思いますか

■ 1そう思う    ▨ 2どちらかと言えばそう思う    ■ 3どちらかと言えばそう思わない    ■ 4そう思わない



### 【性別】

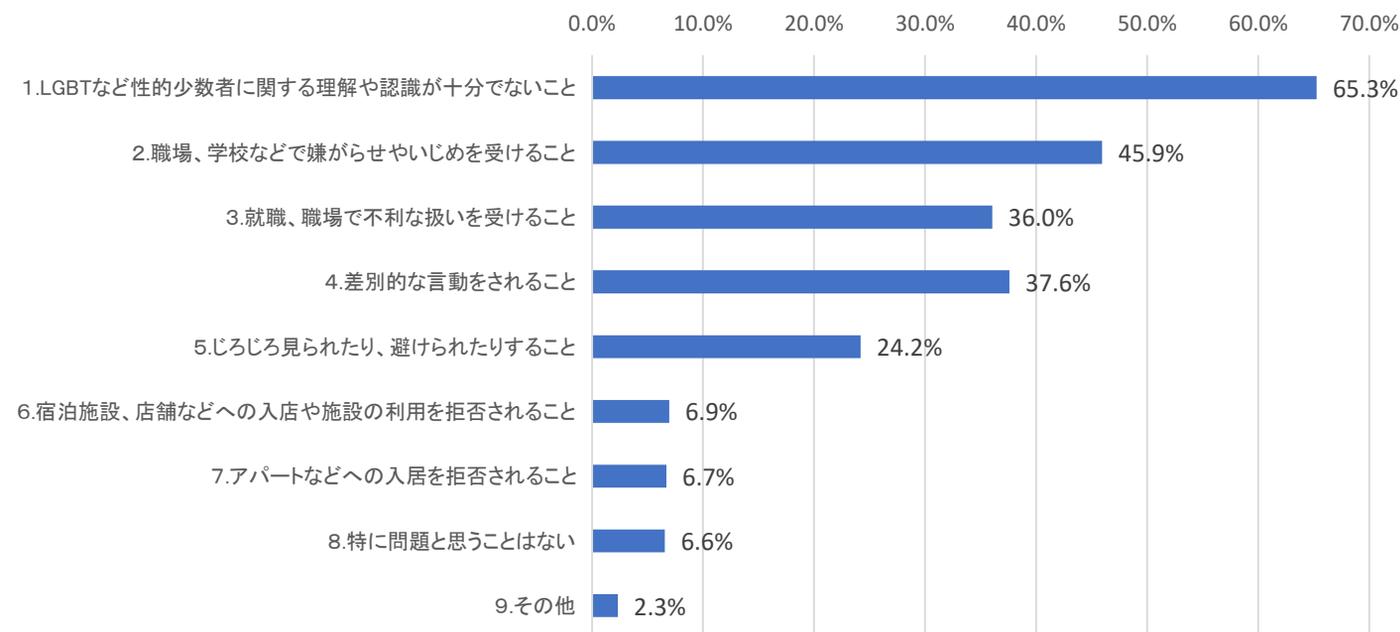
### 【年代別】



全体の86%（そう思う・どちらかと言えばそう思う）が、現在の社会が性的少数者にとって偏見や差別で生きづらい社会だと思うと回答しています。

## ○性的少数者に関する事で人権上特に課題だと思うこと

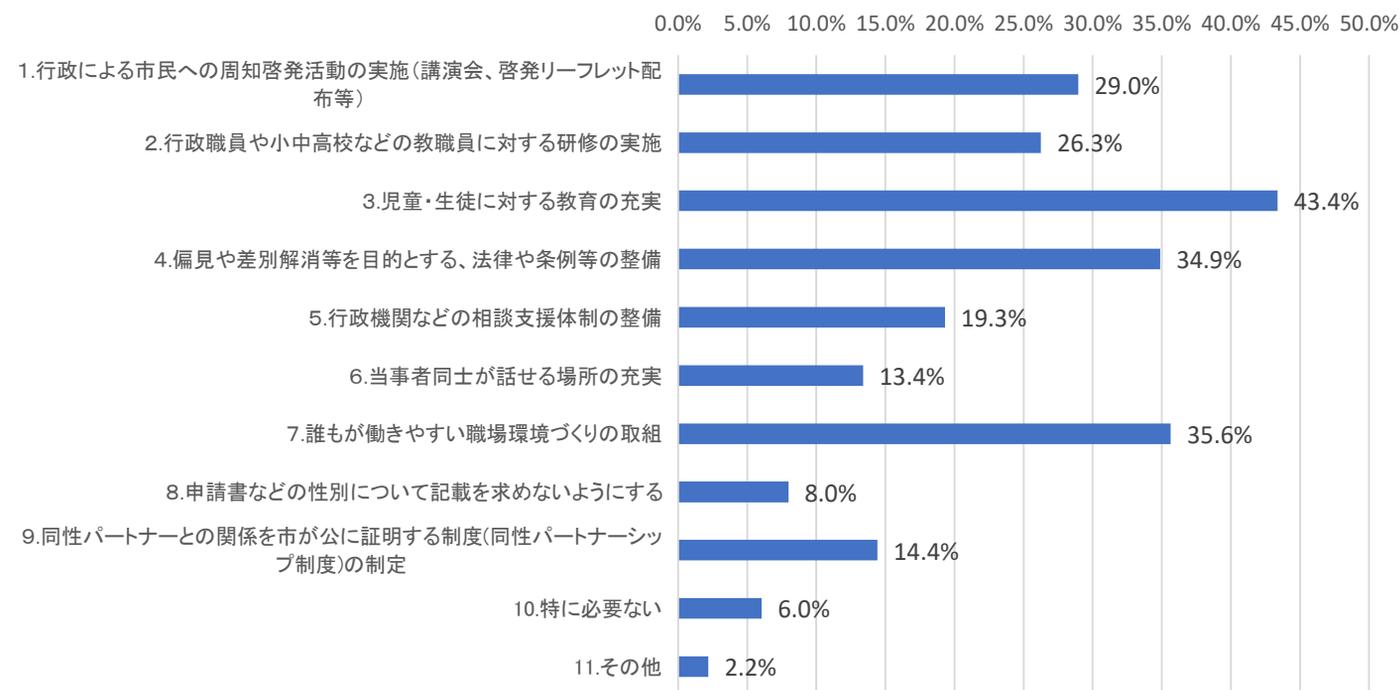
N=777



性的少数者に関する事で人権上特に課題だと思うことは、性的少数者に関する理解や認識が十分でないことが**65.3%**と最も多く、次いで、職場、学校などでの嫌がらせやいじめを受けること（**45.9%**）や差別的な言動をされること（**37.6%**）、就職、職場で不利な扱いを受けること（**36.0%**）といった回答が多くなっています。

## ○性的少数者が暮らしやすい社会にするために必要だと思う取組

N=777



性的少数者が暮らしやすい社会にするために必要だと思う取組は、児童・生徒に対する教育の充実が**43.4%**で最も多く、次いで、誰もが働きやすい職場環境の整備（**35.6%**）、偏見や差別解消を目的とする法律や条例の整備（**34.9%**）といった回答が多くなっています。